



令和 8 年度 宮城県循環器病対策推進協議会

第 2 期宮城県循環器病対策推進計画

－ 令和 7 年度事業実績と令和 8 年度事業計画の概要 －



宮城県保健福祉部健康推進課

第2期宮城県循環器病対策推進計画のイメージ

宮城県循環器病対策推進計画

循環器病の予防や正しい知識の普及啓発



- 栄養・食生活
- 身体活動・運動
- 喫煙
- 糖尿病重症化予防
- 正しい知識の普及啓発など



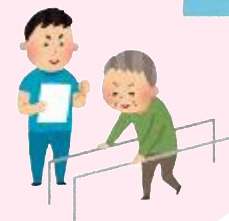
健康寿命の延伸と
年齢調整死亡率の減少

宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター



保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

- 健診
- 救急搬送体制
- 医療提供体制
- リハビリテーション
- 後遺症・緩和ケア
- 治療と仕事の両立
- 相談支援など



各個別計画と連携

みやぎ21健康プラン

宮城県食育推進プラン

宮城県地域医療計画

みやぎ高齢者元気プラン

宮城県がん対策推進計画

宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画

救急搬送実施基準

みやぎ障害者プラン

全体目標

令和22（2040）年までに3年以上の健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

（1）一次予防の取組強化

- ① 栄養・食生活
- ② 身体活動・運動
- ③ 喫煙

（2）糖尿病重症化予防の強化

（3）循環器病の正しい知識の普及啓発

（4）スマートみやぎ健民会議を核とした推進体制の整備

3 循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備

宮城県脳卒中発症登録及び急性心筋梗塞調査報告書による診療情報の収集

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- 1 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- 2 他の疾患等に係る対策との連携
- 3 感染症拡大や災害等の有事を見据えた対策
- 4 循環器病対策の進捗状況の把握及び評価等

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

（1）健診の普及や取組の推進

- ① 特定健診・特定保健指導従事者育成研修会の開催による人材育成
- ② 特定健診等の重要性の県民への普及啓発
- ③ 健診の実施体制の強化

（2）救急搬送体制の整備

- ① ドクターヘリの安全かつ効果的な運用
- ② 救急搬送情報共有システムの効果的な運用
- ③ メディカルコントロール協議会の活動を通じた救命措置等や直接搬送の推進
- ④ 救急救命士の配備体制の充実
- ⑤ 応急手当等の普及啓発

（3）医療提供体制の構築

- ① 24時間体制で急性期医療が実施される体制の整備
- ② 在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進
- ③ 各治療ステージに携わる人材の育成
- ④ 循環器病治療体制の更なる充実・強化、治療内容や医療連携に係る調査研究

（4）リハビリテーション等の取組

（5）後遺症を有する者に対する支援

（6）循環器病の緩和ケア

（7）社会連携に基づく患者支援

（8）治療と仕事の両立支援・就労支援

（9）小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

（10）患者等への適切な情報提供・相談支援

- ① 循環器病の相談窓口の利用促進
- ② 循環器病の患者・経験者の情報提供
- ③ 人材育成等による地域包括支援センターの運営支援等

（11）宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター

全体目標

令和22（2040）年までに3年以上の健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

（1）一次予防の取組強化

- ① 栄養・食生活
- ② 身体活動・運動
- ③ 喫煙

（2）糖尿病重症化予防の強化

（3）循環器病の正しい知識の普及啓発

（4）スマートみやぎ健民会議を核とした推進体制の整備

3 循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備

宮城県脳卒中発症登録及び急性心筋梗塞調査報告書による診療情報の収集

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- 1 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- 2 他の疾患等に係る対策との連携
- 3 感染症拡大や災害等の有事を見据えた対策
- 4 循環器病対策の進捗状況の把握及び評価等

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

（1）健診の普及や取組の推進

- ① 特定健診・特定保健指導従事者育成研修会の開催による人材育成
- ② 特定健診等の重要性の県民への普及啓発
- ③ 健診の実施体制の強化

（2）救急搬送体制の整備

- ① ドクターヘリの安全かつ効果的な運用
- ② 救急搬送情報共有システムの効果的な運用
- ③ メディカルコントロール協議会の活動を通じた救命措置等や直接搬送の推進
- ④ 救急救命士の配備体制の充実
- ⑤ 応急手当等の普及啓発

（3）医療提供体制の構築

- ① 24時間体制で急性期医療が実施される体制の整備
- ② 在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進
- ③ 各治療ステージに携わる人材の育成
- ④ 循環器病治療体制の更なる充実・強化、治療内容や医療連携に係る調査研究

（4）リハビリテーション等の取組

（5）後遺症を有する者に対する支援

（6）循環器病の緩和ケア

（7）社会連携に基づく患者支援

（8）治療と仕事の両立支援・就労支援

（9）小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

（10）患者等への適切な情報提供・相談支援

- ① 循環器病の相談窓口の利用促進
- ② 循環器病の患者・経験者の情報提供
- ③ 人材育成等による地域包括支援センターの運営支援等

（11）宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター

一次予防の取組強化（栄養・食生活）

令和7年度 実績

健康的で持続可能な食環境づくりの推進

- 県内大学及び企業と連携した「みやぎベジプラスメニュー」の販売

協力企業数 : 4
大学数 : 4
販売メニュー : 8品
販売店舗数 : 県内105カ所

- 各保健所管内における社員食堂等でのベジプラスメニューの販売及びベジプラス100&塩ecoの普及啓発を県内103カ所で実施

- WEB広告、テレビ番組等とタイアップしたベジプラス100&塩ecoの普及啓発



みやぎベジプラスメニュー販売会



スーパーでのベジチェック®の設置



ベジプラス100協力店・施設のマッピング



一次予防の取組強化（栄養・食生活）

令和7年度 実績

栄養・食生活に関する正しい情報の発信

- 望ましい食生活（朝食摂取、食事の適量、バランスのとれた食事、適正飲酒）に関する啓発資料の作成
- 食生活改善推進員等と連携した地域での啓発活動
- みやぎの食育通信やラジオ番組による栄養・食生活に関する正しい知識の発信



食育インタラクティブ動画【みやぎの食育クエスト】



みやぎの食育通信

全世代向け



朝食摂取に関するYoutubeでの啓発
朝食を食べることのメリットをわかりやすく伝えるショート動画

子ども向け



健康・食育まちがいさがしのポスター

一次予防の取組強化（身体活動・運動）

令和7年度 実績

身体活動や歩数増加の機会の増加

みやぎ健康ウォークの運用

ユーザー内・市区町村等のランキング機能もあり、楽しみながら歩くことができるアプリ

みやぎ県民公式アプリ「ポケットサイン」のミニアプリ「みやぎ健康ウォーク」の運用

登録者数：約82,000人（R7年度末）



春の歩数アップキャンペーン（5月～6月）

目標歩数8,000歩以上の人に抽選で「みやぎポイント」をプレゼント

参加者数：12,373人



歩数アップチャレンジ2025の開催（10月～11月） （働き盛り世代の運動習慣の定着と健康経営の推進）

2か月間の平均歩数を競うイベント実施
目標8,000歩を達成したチームや達成者に賞品をプレゼント

参加数：158事業所 1,553チーム（4,659人）



賞品：スマートみやぎ健民会議応援企業の協賛品等

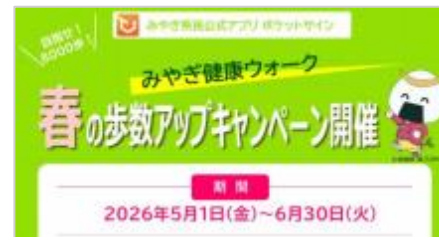
一次予防の取組強化（身体活動・運動）

令和8年度 事業計画

身体活動や歩数増加の機会の増加

①春の歩数アップキャンペーン（5月～6月）

- ・ 目標歩数8,000歩以上の人に抽選で「みやぎポイント」をプレゼント



②歩数アップチャレンジ2026

- ・ 10月～11月の2か月間の平均歩数を競うイベントを実施
- ・ 目標8,000歩を達成したチームや達成者に賞品をプレゼント



賞品：スマートみやぎ健民会議
応援企業の協賛品等

PHR（パーソナルヘルスレコード）の活用促進

③健康増進アプリの活用

- ・ 県内市町村広報誌や市町村の健診・保健指導時又は健康イベント等でアプリに関する周知を実施するほか、受託者が現地に出向いて登録支援を行う登録会実施する。
- ・ 当該アプリを活用した保健指導を行うことで、保険者支援制度における取組評価につながることを市町村に周知し、保健指導実施率の向上につなげる。
- ・ 新たな機能の搭載や機能の改善について受託者と協議を行う。



一次予防の取組強化（スマートみやぎ健民会議）

令和7年度 実績

みやぎ健康月間（11月）による健康づくりの取組

みやぎ食育と健康づくりフェスタ（R7.11.4）

「食育」と「健康づくり」をテーマにイベントを開催
（来場者365名）

・健康づくり優良団体表彰

大賞〔企業等法人部門〕

株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北

優良賞〔企業等法人部門〕

有限会社マルエ運送

株式会社柴清工業

・みやぎベジプラスメニュー商品化発表会

尚絅学院大学、仙台白百合女子大学、

仙台青葉学院短期大学、仙台大学

〔協力企業〕

イオン東北株式会社、株式会社ウジエデリカ、

コープ東北サンネット事業連合、株式会社藤崎

・健康づくりセミナー

・スマートみやぎ健民会議応援企業によるブー

・スマートみやぎ健民会議10周年記念パネル展示



みやぎ食育と健康づくりフェスタ

(参考) スマートみやぎ健民会議

「スマートみやぎ健民会議」は、健康づくりを県民運動として推進するための組織。



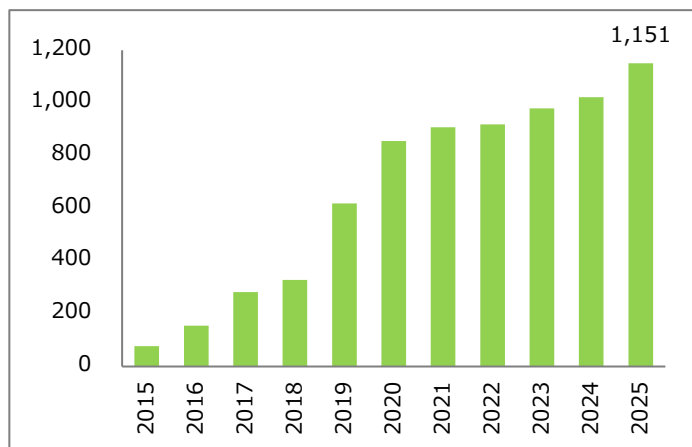
「みやぎヘルスサテライトステーション」は、県民の皆様が買い物帰りなど日常生活の中で気軽に健康づくりに取り組める拠点。

〔登録施設〕
ショッピングセンター、ドラッグストア、薬局、スポーツ施設など

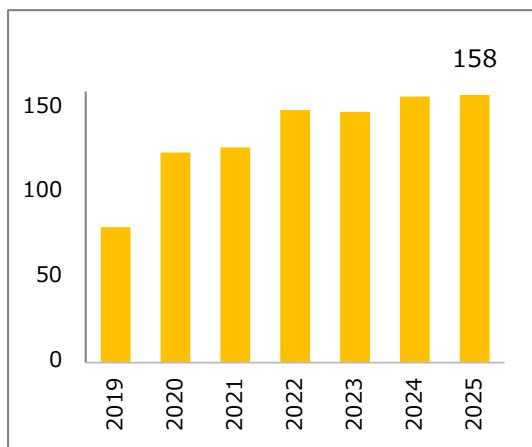


スマートみやぎ健民会議登録状況

（一般会員：1,151、優良会員：33、応援企業：57、みやぎヘルスサテライトステーション158（R7.3.31時点））



スマートみやぎ健民会議一般会員



みやぎヘルスサテライトステーション登録数

健康チェックコーナーの設置



一次予防の取組強化（喫煙）

令和7年度 実績

受動喫煙及び喫煙の健康影響に関する周知・広報

①世界禁煙デー及び禁煙週間

・イエローグリーンライトアップ (R7.5.30)

※イエローグリーンキャンペーン

5月31日の世界禁煙デーや5月31日から6月6日までの禁煙週間などに合わせ、「受動喫煙をしたくない、させたくない」という気持ちを表すイエローグリーン色のライトアップ活動などを行うもの。宮城県でも、宮城県医師会の呼びかけにより「宮城県イエローグリーンキャンペーン推進会議」が設立され、活動が行われているもの。



令和7年度イエローグリーンキャンペーン（宮城県庁）

・禁煙週間 パネル展 (R7.5.31～R7.6.6)

・みやぎ受動喫煙ゼロ週間 (R7.9.1～R7.9.7)



令和7年度禁煙週間 パネル展（宮城県図書館）



一次予防の取組強化（喫煙）

令和7年度 実績

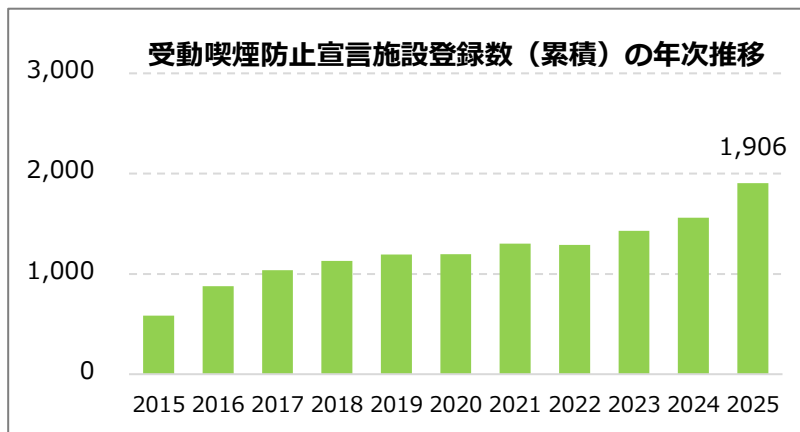
受動喫煙及び喫煙の健康影響に関する周知・広報

②受動喫煙防止宣言施設登録制度

民間施設による受動喫煙防止対策を促進するため、仙台市及び全国健康保険協会（協会けんぽ）宮城支部とともに「受動喫煙防止宣言施設登録制度」を実施

【登録の基準】

- ・敷地内、屋内を終日禁煙にしていること
- ・禁煙である旨を利用者に分かりやすく表示していることなど



施設登録数 1,906施設（R8.4.1時点）

③禁煙支援に係る情報発信

- ・県HPを活用し禁煙支援に関する情報を発信
- ・モデル市町村（東松島市、利府町、七ヶ浜町）への禁煙支援のコンサルテーションを通じ、特定健診の場での禁煙支援を実施



https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kensui/kinen_keihatu.html

「たばこ」や「受動喫煙」の基礎知識について知っていただけるよう動画作成

一次予防の取組強化（喫煙）

令和8年度 事業計画

受動喫煙及び喫煙の健康影響に関する周知・広報

① 喫煙の健康影響に関する啓発

- ・イエローグリーンライトアップ
(R8.5.29)
- ・世界禁煙デー及び禁煙週間パネル展
(R8.5.29～R8.6.5)



令和8年度イエローグリーンキャンペーン（宮城県庁）

② 受動喫煙が生じない環境づくり

受動喫煙防止宣言施設登録制度
(R8.7.1現在 1,920施設が登録)



↑仙南保健所



↑塩釜保健所



↑大崎保健所

③ 禁煙支援に係る情報発信

- ・県HPを活用し禁煙支援に関する情報を発信
- ・モデル市町村への禁煙支援のコンサルテーションを通じ、特定健診の場での禁煙支援を実施



パネル展（県庁）



↑石巻保健所



↑気仙沼保健所

全体目標

令和22（2040）年までに3年以上の健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

（1）一次予防の取組強化

- ① 栄養・食生活
- ② 身体活動・運動
- ③ 喫煙

（2）糖尿病重症化予防の強化

（3）循環器病の正しい知識の普及啓発

（4）スマートみやぎ健民会議を核とした推進体制の整備

3 循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備

宮城県脳卒中発症登録及び急性心筋梗塞調査報告書による診療情報の収集

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- 1 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- 2 他の疾患等に係る対策との連携
- 3 感染症拡大や災害等の有事を見据えた対策
- 4 循環器病対策の進捗状況の把握及び評価等

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

（1）健診の普及や取組の推進

- ① 特定健診・特定保健指導従事者育成研修会の開催による人材育成
- ② 特定健診等の重要性の県民への普及啓発
- ③ 健診の実施体制の強化

（2）救急搬送体制の整備

- ① ドクターヘリの安全かつ効果的な運用
- ② 救急搬送情報共有システムの効果的な運用
- ③ メディカルコントロール協議会の活動を通じた救命措置等や直接搬送の推進
- ④ 救急救命士の配備体制の充実
- ⑤ 応急手当等の普及啓発

（3）医療提供体制の構築

- ① 24時間体制で急性期医療が実施される体制の整備
- ② 在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進
- ③ 各治療ステージに携わる人材の育成
- ④ 循環器病治療体制の更なる充実・強化、治療内容や医療連携に係る調査研究

（4）リハビリテーション等の取組

（5）後遺症を有する者に対する支援

（6）循環器病の緩和ケア

（7）社会連携に基づく患者支援

（8）治療と仕事の両立支援・就労支援

（9）小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

（10）患者等への適切な情報提供・相談支援

- ① 循環器病の相談窓口の利用促進
- ② 循環器病の患者・経験者の情報提供
- ③ 人材育成等による地域包括支援センターの運営支援等

（11）宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター

糖尿病重症化予防の強化

令和7年度 実績

糖尿病性腎症重症化予防研修会（市町村の担当者向け）

日時：令和8年2月12日

内容：専門医による講義のほか

- ・県の糖尿病性腎症重症化予防対策について
（宮城県保健福祉部健康推進課）
- ・FBR（フィードバックレポート）及び糖尿病治療中断者リストの活用について
（宮城県国民健康保険団体連合会事業推進課）

宮城県糖尿病対策推進会議

市町村における糖尿病対策に係る事業の実施状況等について、県内の状況を糖尿病専門医と情報共有

日時：令和8年3月4日

宮城県糖尿病対策推進会議（敬称略）

会 長	宮城県医師会 会長	佐藤 和宏
副会長	宮城県医師会 副会長	奥村 秀定
副会長	東北大学大学院医学系研究科 糖尿病代謝・内分泌内科学分野教授	片桐 秀樹
副会長	東北医科薬科大学医学部 糖尿病代謝内科教授	澤田 正二郎
副会長	宮城県歯科医師会 会長	佐々木 優



宮城県民の健康課題（まとめ）

宮城県の現状（糖尿病及び糖尿病性腎症の重症化予防中心）

塩分摂取量、喫煙率、歩数

塩分摂取量は、男女ともに全国値より高い。
喫煙率は、全国値よりやや高い。
歩数が全国値より少ない。

肥満傾向児の出現率

男子は16歳以下、女子は14歳以下の全年齢で、全国値より高い。

メタボリックシンドローム該当者・予備群割合

依然として全国値を上回っており、かつウエスト上位の順位が続いている。

HbA1c及び空腹時血糖の推移

男女ともほぼすべての年代で平均値がわずかに増加傾向

糖尿病の状況等

糖尿病患者数は増加傾向。受診率は全国値より高い。

人工透析の状況等

新規導入患者数は増加傾向。糖尿病性腎症は約4割。

全体目標

令和22（2040）年までに3年以上の健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

（1）一次予防の取組強化

- ① 栄養・食生活
- ② 身体活動・運動
- ③ 喫煙

（2）糖尿病重症化予防の強化

（3）循環器病の正しい知識の普及啓発

（4）スマートみやぎ健民会議を核とした推進体制の整備

3 循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備

宮城県脳卒中発症登録及び急性心筋梗塞調査報告書による診療情報の収集

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- 1 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- 2 他の疾患等に係る対策との連携
- 3 感染症拡大や災害等の有事を見据えた対策
- 4 循環器病対策の進捗状況の把握及び評価等

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

（1）健診の普及や取組の推進

- ① 特定健診・特定保健指導従事者育成研修会の開催による人材育成
- ② 特定健診等の重要性の県民への普及啓発
- ③ 健診の実施体制の強化

（2）救急搬送体制の整備

- ① ドクターヘリの安全かつ効果的な運用
- ② 救急搬送情報共有システムの効果的な運用
- ③ メディカルコントロール協議会の活動を通じた救命措置等や直接搬送の推進
- ④ 救急救命士の配備体制の充実
- ⑤ 応急手当等の普及啓発

（3）医療提供体制の構築

- ① 24時間体制で急性期医療が実施される体制の整備
- ② 在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進
- ③ 各治療ステージに携わる人材の育成
- ④ 循環器病治療体制の更なる充実・強化、治療内容や医療連携に係る調査研究

（4）リハビリテーション等の取組

（5）後遺症を有する者に対する支援

（6）循環器病の緩和ケア

（7）社会連携に基づく患者支援

（8）治療と仕事の両立支援・就労支援

（9）小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

（10）患者等への適切な情報提供・相談支援

- ① 循環器病の相談窓口の利用促進
- ② 循環器病の患者・経験者の情報提供
- ③ 人材育成等による地域包括支援センターの運営支援等

（11）宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター

健診の普及や取組の推進

令和7年度 実績

特定健診等の重要性の県民への普及啓発

(宮城県保険者協議会による普及啓発活動)

特定健診受診率及び特定健診保健指導実施率を高めるため、特定健診等の重要性を普及啓発するポスターを保険者協議会で1,400枚作成し、各保険者、医療機関、スーパー等に掲示。

宮城県特定健診・特定保健指導従事者育成研修会

健診・保健指導を効果的に実施できるよう、特定健診・特定保健指導従事者に対して研修を行い、生活習慣病対策全体を効果的に推進できる人材を育成。



県民向けポスター

基礎編

R7年6月23日
～R7年7月31日

実践編

R7年8月5日

事業企画・評価編

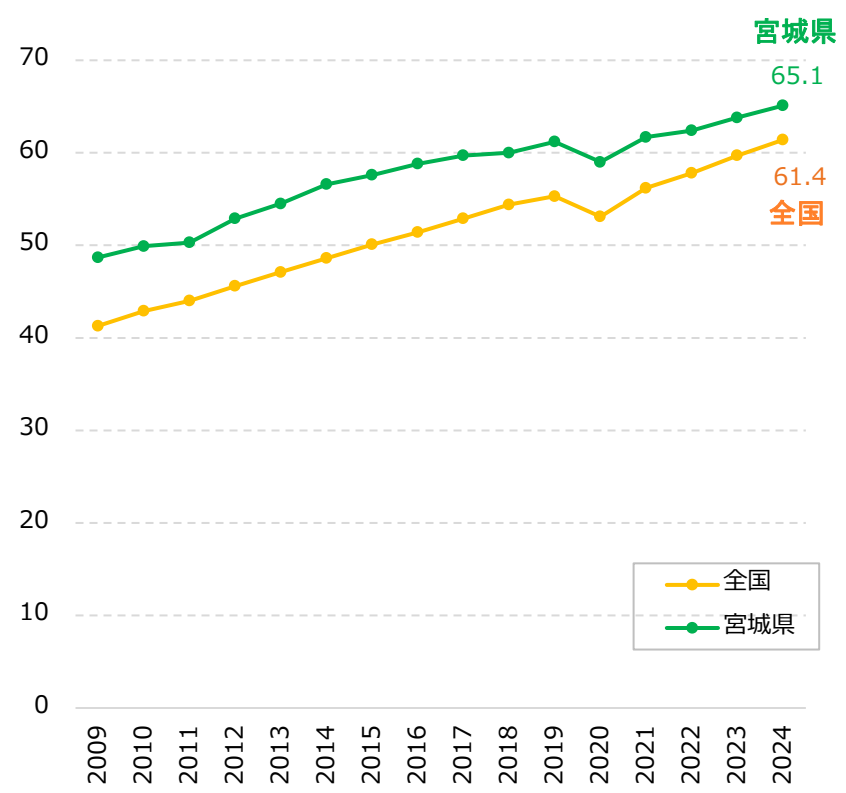
R7年11月10日



従事者育成研修会

特定健診、保健指導の実施状況（全国と宮城県）

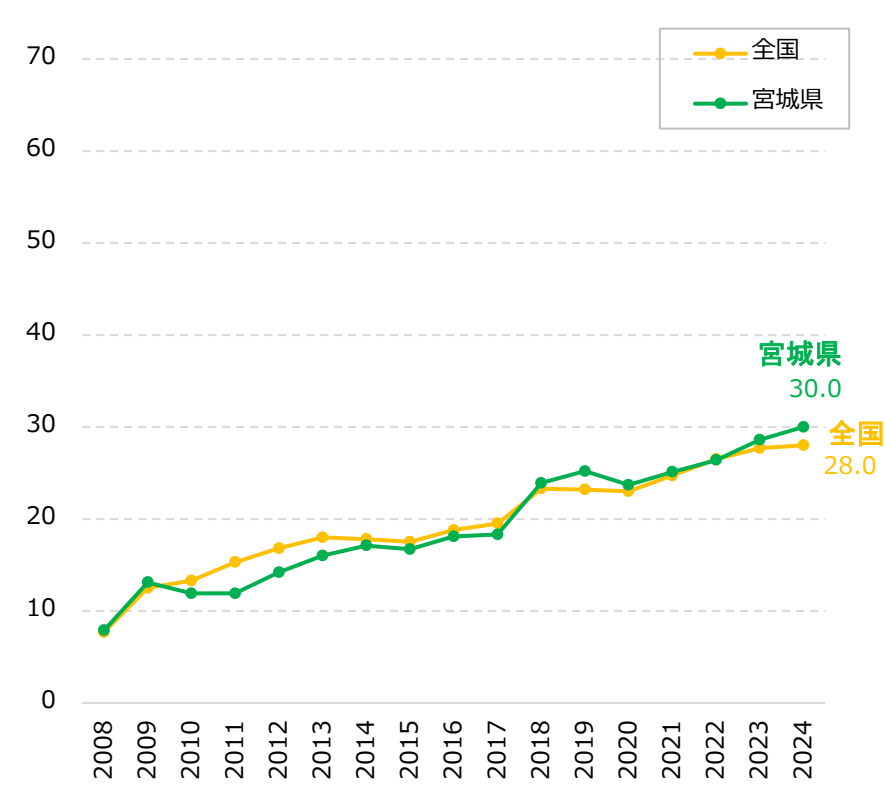
特定健康診査受診率の年次推移



特定健診とは

生活習慣病の予防のために、対象者（40歳～74歳）の方にメタボリックシンドロームに着目した健診を行います。

特定保健指導実施率の年次推移



特定保健指導とは

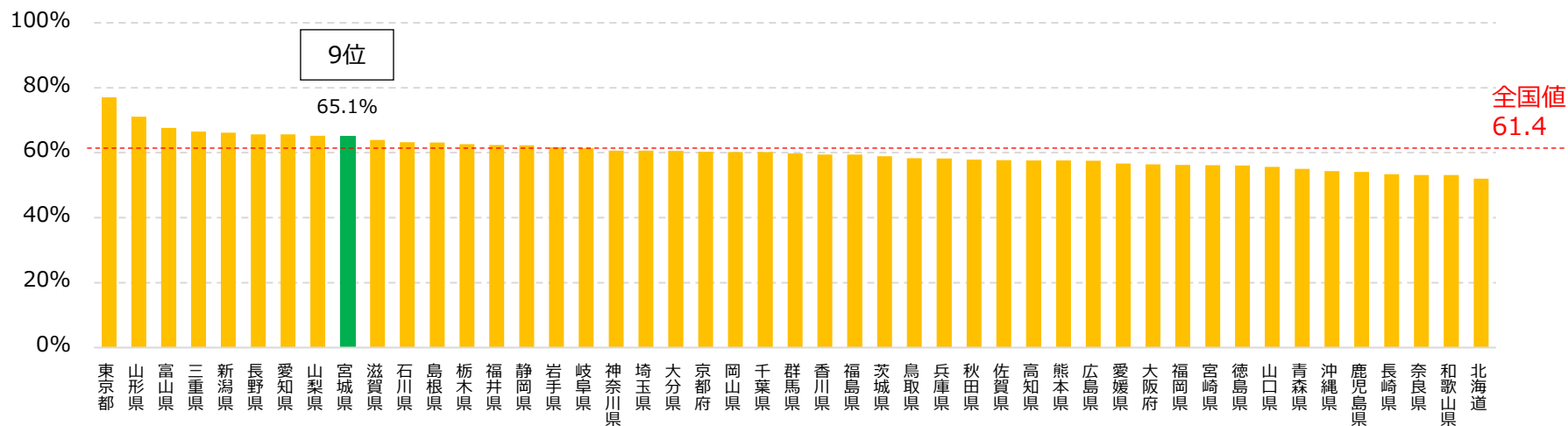
生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、専門スタッフ（保健師、管理栄養士など）が生活習慣を見直すサポートをします。

全国順位	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
特定健診受診率	2	4	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	7	9
保健指導実施率	26	40	44	44	37	35	35	33	35	31	26	29	31	31	24	23

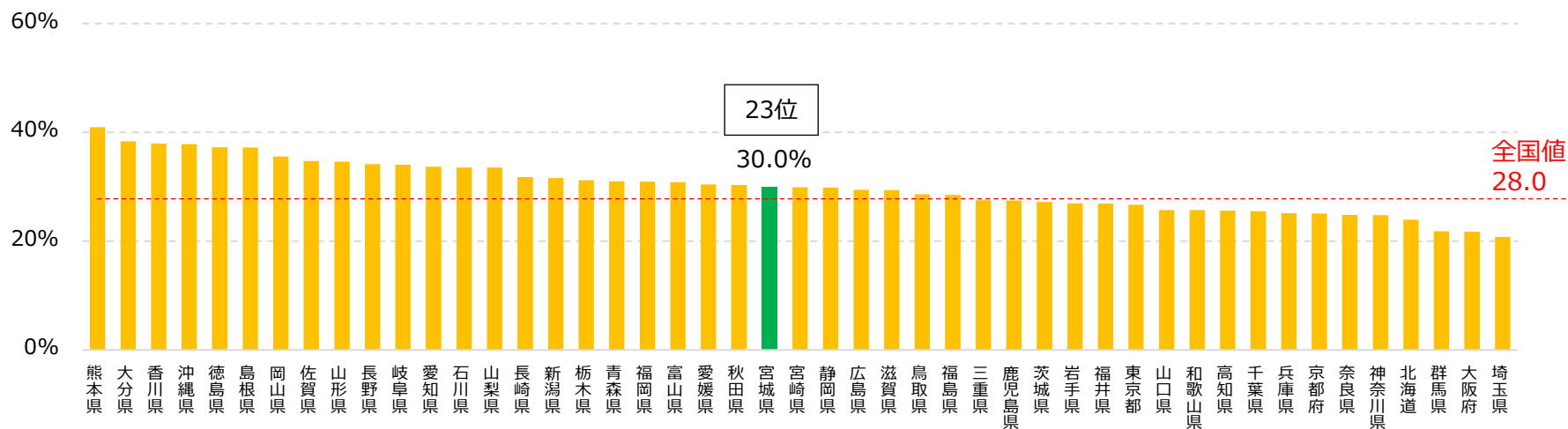
出典：特定健診・特定保健指導に関するデータ（厚生労働省）から県でグラフ化

特定健診、保健指導の実施状況（都道府県順位）

特定健診受診率 2024（R6）年



特定保健指導実施率 2024（R6）年



全体目標

令和22（2040）年までに3年以上の健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

（1）一次予防の取組強化

- ① 栄養・食生活
- ② 身体活動・運動
- ③ 喫煙

（2）糖尿病重症化予防の強化

（3）循環器病の正しい知識の普及啓発

（4）スマートみやぎ健民会議を核とした推進体制の整備

3 循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備

宮城県脳卒中発症登録及び急性心筋梗塞調査報告書による診療情報の収集

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- 1 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- 2 他の疾患等に係る対策との連携
- 3 感染症拡大や災害等の有事を見据えた対策
- 4 循環器病対策の進捗状況の把握及び評価等

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

（1）健診の普及や取組の推進

- ① 特定健診・特定保健指導従事者育成研修会の開催による人材育成
- ② 特定健診等の重要性の県民への普及啓発
- ③ 健診の実施体制の強化

（2）救急搬送体制の整備

- ① ドクターヘリの安全かつ効果的な運用
- ② 救急搬送情報共有システムの効果的な運用
- ③ メディカルコントロール協議会の活動を通じた救命措置等や直接搬送の推進
- ④ 救急救命士の配備体制の充実
- ⑤ 応急手当等の普及啓発

（3）医療提供体制の構築

- ① 24時間体制で急性期医療が実施される体制の整備
- ② 在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進
- ③ 各治療ステージに携わる人材の育成
- ④ 循環器病治療体制の更なる充実・強化、治療内容や医療連携に係る調査研究

（4）リハビリテーション等の取組

（5）後遺症を有する者に対する支援

（6）循環器病の緩和ケア

（7）社会連携に基づく患者支援

（8）治療と仕事の両立支援・就労支援

（9）小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

（10）患者等への適切な情報提供・相談支援

- ① 循環器病の相談窓口の利用促進
- ② 循環器病の患者・経験者の情報提供
- ③ 人材育成等による地域包括支援センターの運営支援等

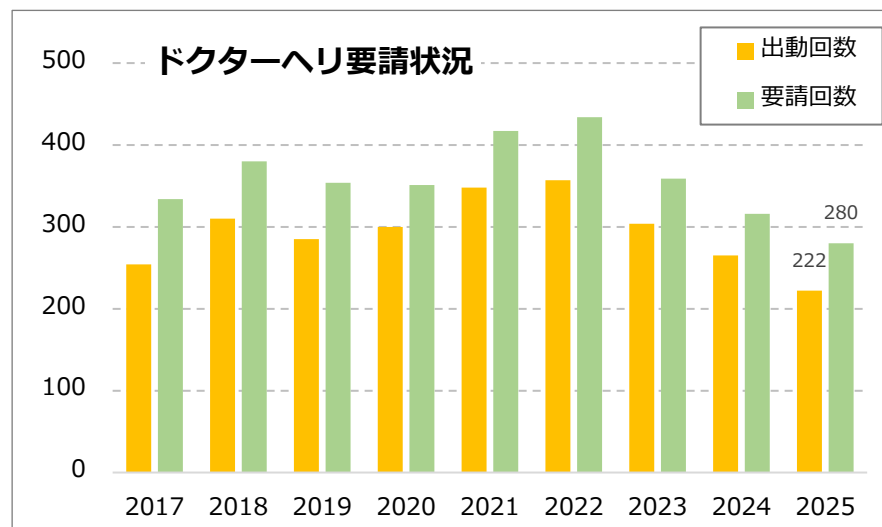
（11）宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター

救急搬送体制の整備

令和7年度実績

ドクターヘリの運航

基地病院（仙台医療センター及び東北大学病院）、消防機関及び医療機関等と連携し、宮城県ドクターヘリを運用。



県医療政策課HP「宮城県ドクターヘリの運航について」より

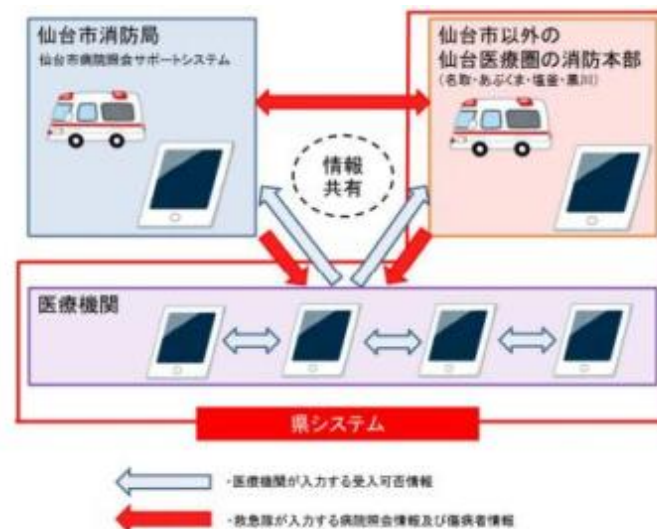


平成28年10月28日 運航開始

救急搬送情報共有システムの運営

仙台医療圏の消防本部（救急隊）や救急医療機関が入力する情報により救急搬送の効率化を図るシステム「宮城県救急搬送情報共有システム」を運用。

仙台市消防局のシステムに、名取・あぶくま・塩釜・黒川の4消防本部が連携して、救急隊の照会結果・搬送情報や、医療機関の情報をリアルタイムで共有している。



平成31年4月23日 運用開始

救急搬送体制の整備

令和8年度 事業計画

救急搬送情報共有システムの運営

仙台市 新たな救急情報システムの導入により救急搬送の迅速化

- 1 運用開始 令和8年4月1日
- 2 対象 仙台市内全ての救急隊 30隊、仙台医療圏の医療機関 27施設
- 3 導入システム 救急医療情報システム (NSER mobile)
- 4 システムの概要
 - ・救急隊によるモバイル端末での情報収集
 - ・医療機関への傷病者情報の電子共有
 - ・活動記録の電子化

県 令和9年4月からの運用に向けて調整中



システムのイメージ (AI作成)

(参考) 救急搬送体制の整備

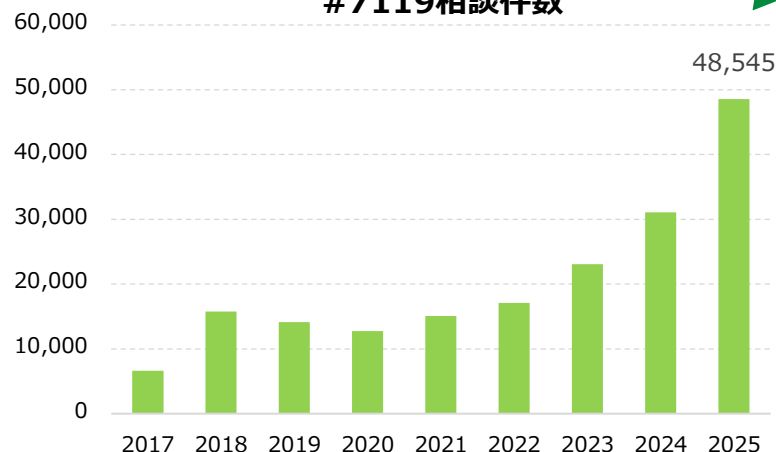
おとな救急電話相談（#7119）

急な病気やけがで、救急車を呼んだ方が良いのか迷うときや、応急処置の方法が知りたいときの相談ダイヤルを開設。看護師などが対処方法について助言するほか、受診の必要性、受診可能な医療機関を案内。



#7119相談件数

24時間化

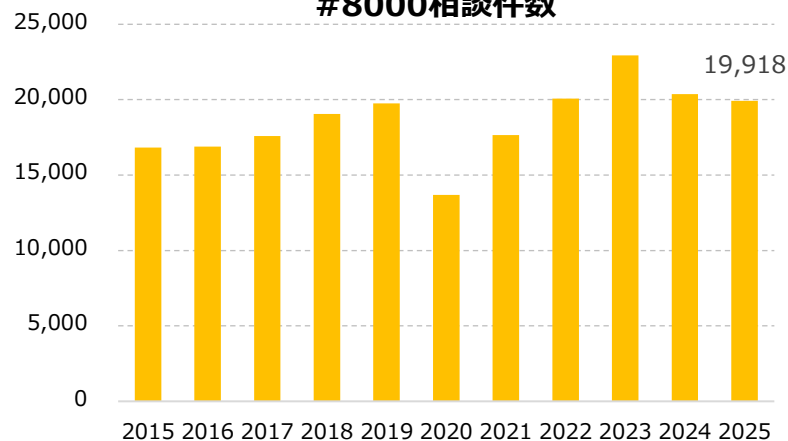


宮城県子ども夜間安心コール事業（#8000）

お子さんが急な病気になったときに、夜間の電話による医療相談を行い、保護者の方々の不安解消と、病状に応じた適切な対応を図り、初期救急医療の充実を図る。



#8000相談件数



全体目標

令和22（2040）年までに3年以上の健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

（1）一次予防の取組強化

- ① 栄養・食生活
- ② 身体活動・運動
- ③ 喫煙

（2）糖尿病重症化予防の強化

（3）循環器病の正しい知識の普及啓発

（4）スマートみやぎ健民会議を核とした推進体制の整備

3 循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備

宮城県脳卒中発症登録及び急性心筋梗塞調査報告書による診療情報の収集

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- 1 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- 2 他の疾患等に係る対策との連携
- 3 感染症拡大や災害等の有事を見据えた対策
- 4 循環器病対策の進捗状況の把握及び評価等

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

（1）健診の普及や取組の推進

- ① 特定健診・特定保健指導従事者育成研修会の開催による人材育成
- ② 特定健診等の重要性の県民への普及啓発
- ③ 健診の実施体制の強化

（2）救急搬送体制の整備

- ① ドクターヘリの安全かつ効果的な運用
- ② 救急搬送情報共有システムの効果的な運用
- ③ メディカルコントロール協議会の活動を通じた救命措置等や直接搬送の推進
- ④ 救急救命士の配備体制の充実
- ⑤ 応急手当等の普及啓発

（3）医療提供体制の構築

- ① 24時間体制で急性期医療が実施される体制の整備
- ② 在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進
- ③ 各治療ステージに携わる人材の育成
- ④ 循環器病治療体制の更なる充実・強化、治療内容や医療連携に係る調査研究

（4）リハビリテーション等の取組

（5）後遺症を有する者に対する支援

（6）循環器病の緩和ケア

（7）社会連携に基づく患者支援

（8）治療と仕事の両立支援・就労支援

（9）小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

（10）患者等への適切な情報提供・相談支援

- ① 循環器病の相談窓口の利用促進
- ② 循環器病の患者・経験者の情報提供
- ③ 人材育成等による地域包括支援センターの運営支援等

（11）宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター

循環器病患者等の社会的な問題への対策（就労支援・両立支援）

令和7年度 実績

宮城県地域両立支援推進チーム

(1) 設置目的

地域の実情に応じた**治療と仕事の両立支援を効果的に進める**ため、関係者のネットワークを構築し、両立支援の取組の連携を図ることを目的に、宮城労働局が中心となって平成29年9月に設置

(2) 構成委員

- 宮城県中小企業団体中央会
- 日本労働組合総連合会 宮城県連合会（連合宮城）
- 公益社団法人 宮城県医師会
- 宮城県立がんセンター
- 宮城県医療ソーシャルワーカー協会
- 宮城産業保健総合支援センター
- 東北労災病院治療就労両立支援センター
- 宮城県社会保険労務士会
- 特定非営利活動法人日本キャリア開発協会（JCDA）
- 一般社団法人 日本産業力カウンセラー協会
- 宮城県 保健福祉部 健康推進課
- 仙台市健康福祉局 保健衛生部 健康政策課
- 仙台公共職業安定所
- 古川公共職業安定所
- 宮城労働局 労働基準部 健康安全課

主な取組

- ・事業所向けのリーフレット作成、配布
- ・構成団体間の連携、取組状況の情報共有（チーム会議の開催：R8.3.16開催）

宮城県地域両立支援推進チーム作成リーフレット（R8.3）



宮城労働局 労働基準部 健康安全課

<https://jsite.mhlw.go.jp/miyagi-roudoukyoku/2/226/tiryuu-syugyou.html>

(参考) 両立支援が事業主の努力義務に

改正労働施策総合推進法（令和7年法律第63号）により、**令和8年4月1日から、職場における治療と就業の両立支援の取組が、事業主の努力義務**になりました。

事業主は、治療と就業の両立支援を行うに当たっては、**治療と就業の両立支援指針**（令和8年厚生労働省告示第28号）に基づき、**職場において必要な措置を講じること**が望まれます。

働く人も、企業も
病気で仕事を諦める
時代ではない。

治療と仕事の
両立支援
ブラック・ジャック

病気を抱える労働者は、大きく増えている。
そして、治療が困難だった病気でも、
日常生活を続けられるようになってきた。
だからこそ、ブラック・ジャックが
今望む社会とは!?

治療と就業の両立支援指針
(概要)

ちゅうよう じぶみ

全ての事業主の方へ

令和8年
4月から

病気を抱える労働者の
治療と就業の両立支援
が努力義務になります！

改正労働施策総合推進法（令和7年法律第63号）により、
令和8年4月1日から、職場における治療と就業の両立支援
の取組が、事業主の努力義務になります。

治療と就業の両立支援指針（令和8年厚生労働省告示第
28号）を踏まえ、社内の環境整備や必要な両立支援の措置
を講ずることが求められます。

ちゅうよう じぶみ

イメージキャラクター
ちりょうき

病気を抱える労働者の状況

がん等の病気を抱える労働者の中には、職場の理解や支
援体制が十分でなく、就業をあきらめてしまうケースが少
なくありません。
今後、高齢者の就労の増加等を背景に、どの職場でも、
病気を治療しながら仕事をする労働者は増えていきます。

治療と就業の両立支援とは

大切な人材が病気になっても、治療を受けながら安心し
て働き続けられるよう支援するため、本人からの相談に応
じ、適切に対応できる体制・環境を整備し、必要な就業上
の調整や配慮を行う取組です。

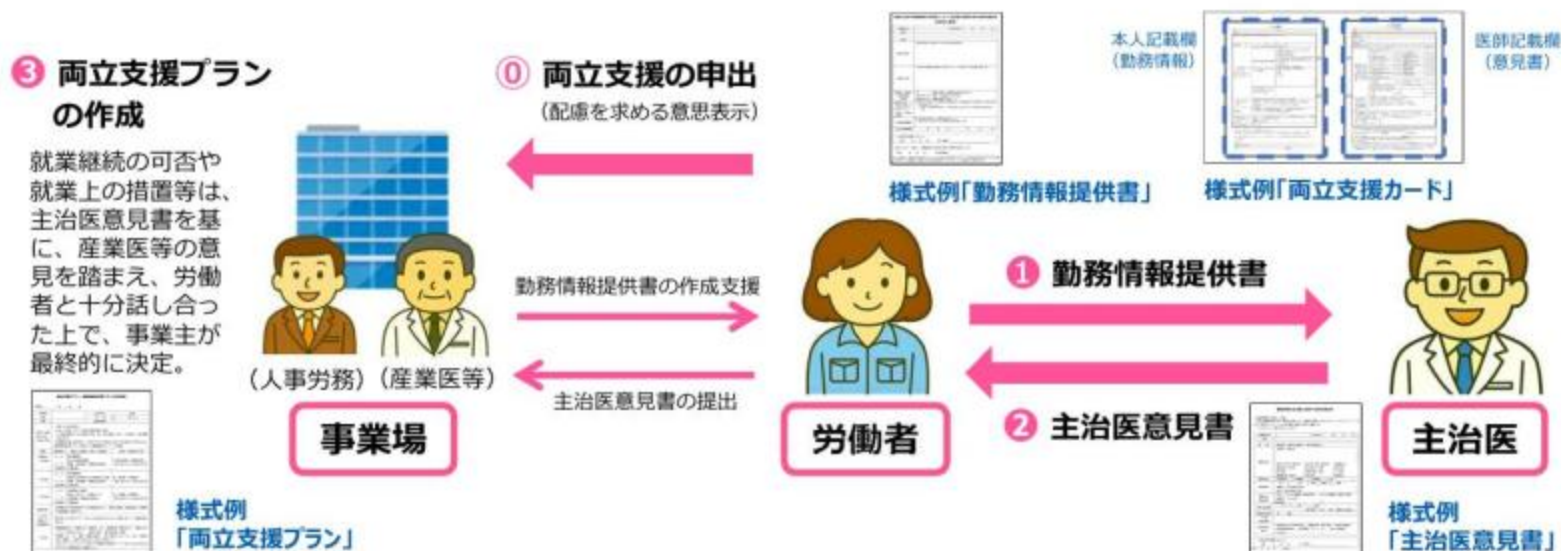
両立支援に取り組む意義

労働者の健康確保及び就業継続とともに、社員全体の安
心感やモチベーションの向上による人材の定着、生産性の
向上といった企業の成長につながります。

厚生労働省 都道府県労働局 健康(安全)課
Ministry of Health, Labour and Welfare

個別の両立支援の進め方

様式例の活用による、主治医や産業医等と連携した支援フロー



治療と就業の両立支援
脳卒中に関する留意事項

以下は、脳卒中等の脳血管疾患に罹患した労働者に対して治療と就業の両立支援を行うに当たって、治療と就業の両立支援指針の内容に加えて、特に留意すべき事項をまとめたものである。

- ・再発等予防・治療のための配慮
- ・障害特性に応じた配慮
- ・復職後の職場適応とメンタルヘルス

全体目標

令和22（2040）年までに3年以上の健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

（1）一次予防の取組強化

- ① 栄養・食生活
- ② 身体活動・運動
- ③ 喫煙

（2）糖尿病重症化予防の強化

（3）循環器病の正しい知識の普及啓発

（4）スマートみやぎ健民会議を核とした推進体制の整備

3 循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備

宮城県脳卒中発症登録及び急性心筋梗塞調査報告書による診療情報の収集

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- 1 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- 2 他の疾患等に係る対策との連携
- 3 感染症拡大や災害等の有事を見据えた対策
- 4 循環器病対策の進捗状況の把握及び評価等

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

（1）健診の普及や取組の推進

- ① 特定健診・特定保健指導従事者育成研修会の開催による人材育成
- ② 特定健診等の重要性の県民への普及啓発
- ③ 健診の実施体制の強化

（2）救急搬送体制の整備

- ① ドクターヘリの安全かつ効果的な運用
- ② 救急搬送情報共有システムの効果的な運用
- ③ メディカルコントロール協議会の活動を通じた救命措置等や直接搬送の推進
- ④ 救急救命士の配備体制の充実
- ⑤ 応急手当等の普及啓発

（3）医療提供体制の構築

- ① 24時間体制で急性期医療が実施される体制の整備
- ② 在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進
- ③ 各治療ステージに携わる人材の育成
- ④ 循環器病治療体制の更なる充実・強化、治療内容や医療連携に係る調査研究

（4）リハビリテーション等の取組

（5）後遺症を有する者に対する支援

（6）循環器病の緩和ケア

（7）社会連携に基づく患者支援

（8）治療と仕事の両立支援・就労支援

（9）小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

（10）患者等への適切な情報提供・相談支援

- ① 循環器病の相談窓口の利用促進
- ② 循環器病の患者・経験者の情報提供
- ③ 人材育成等による地域包括支援センターの運営支援等

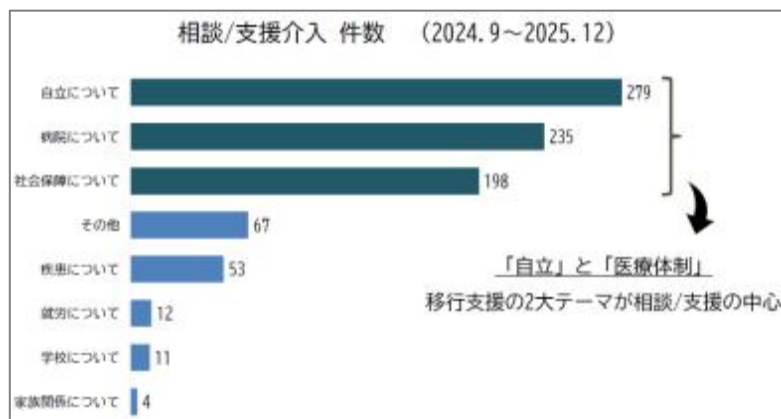
（11）宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター

小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

令和7年度実績・令和8年度事業計画

成人移行支援センター（県立こども病院内）

相談支援実績



宮城県成人移行支援センターの概要

開設日 令和6年9月2日
設置場所 宮城県立こども病院内
職員配置 センター長・成人移行支援コーディネーター
委託先 宮城県立こども病院
業務内容
・医療機関情報の収集・整理
・小慢患者等・家族及び医療機関に対する相談支援
・講演会・研修会の開催

患者家族・医療従事者向け講演会（R7.12.7）

患者・家族と語る成人移行支援の会

開催日：2025年12月7日（日）

こどもから大人へ、医療も変わる
～経験者と考える“成人移行”のかたち～

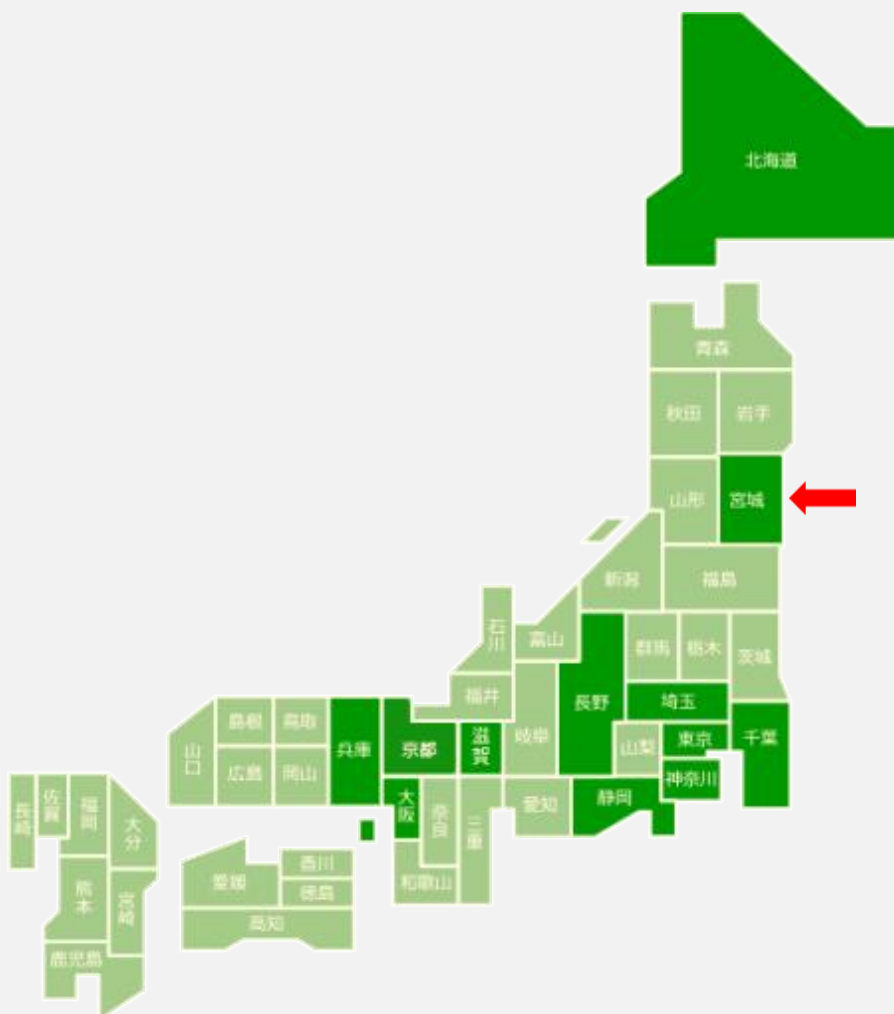
場所：宮城県立こども病院 あやしホール
参加者：若年患者さんとその家族、医療者
定員：50名（予定）

13:30～13:50	開会挨拶・趣意説明
13:50～14:40	座談会（患者・家族・医療者による発表と対話）
14:40～15:20	質疑応答・参加者との意見交換
15:20～15:30	まとめ・閉会挨拶

小慢患者等の成人移行をテーマとした研修会を開催

(参考) 移行期医療支援センターの設置状況

移行期医療支援センターマップ



2026年3月現在 センター設置自治体数 12箇所
宮城県は全国で10番目に設置

	各都道府県の名称	委託先・設置場所
1	北海道移行期医療支援センター	北海道医療センター
2	宮城県成人移行支援センター	宮城県立こども病院
3	東京都移行期医療支援センター	東京都立小児総合医療センター
4	かながわ移行期医療支援センター	かながわ県民センター
5	埼玉県移行期医療支援センター	埼玉県立小児医療センター
6	千葉県移行期医療支援センター	千葉大学医学部附属病院
7	静岡県移行期医療支援センター	静岡県立こども病院
8	長野県移行期医療支援センター	信州大学医学部附属病院
9	大阪府移行期医療支援センター	大阪母子医療センター
10	兵庫県移行期医療支援センター	神戸大学医学部附属病院
11	京都府移行期医療支援センター	京都府立医科大学附属病院
12	滋賀県移行期医療支援センター	滋賀医科大学医学部附属病院

移行期医療支援センターとは、国が「都道府県における小児慢性特定疾病の患者に対する移行期医療支援体制の構築に係るガイド（平成29年10月25日健難発1025第1号）」において、移行期医療の各関係機関の調整や患者自律（自立）支援など、移行期医療を総合的に支援する機能を有する拠点として、各都道府県に1つ以上設置することを求めているものです。

全体目標

令和22（2040）年までに3年以上の健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

（1）一次予防の取組強化

- ① 栄養・食生活
- ② 身体活動・運動
- ③ 喫煙

（2）糖尿病重症化予防の強化

（3）循環器病の正しい知識の普及啓発

（4）スマートみやぎ健民会議を核とした推進体制の整備

3 循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備

宮城県脳卒中発症登録及び急性心筋梗塞調査報告書による診療情報の収集

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- 1 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- 2 他の疾患等に係る対策との連携
- 3 感染症拡大や災害等の有事を見据えた対策
- 4 循環器病対策の進捗状況の把握及び評価等

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

（1）健診の普及や取組の推進

- ① 特定健診・特定保健指導従事者育成研修会の開催による人材育成
- ② 特定健診等の重要性の県民への普及啓発
- ③ 健診の実施体制の強化

（2）救急搬送体制の整備

- ① ドクターヘリの安全かつ効果的な運用
- ② 救急搬送情報共有システムの効果的な運用
- ③ メディカルコントロール協議会の活動を通じた救命措置等や直接搬送の推進
- ④ 救急救命士の配備体制の充実
- ⑤ 応急手当等の普及啓発

（3）医療提供体制の構築

- ① 24時間体制で急性期医療が実施される体制の整備
- ② 在宅医療の提供体制の構築及び関係機関の連携推進
- ③ 各治療ステージに携わる人材の育成
- ④ 循環器病治療体制の更なる充実・強化、治療内容や医療連携に係る調査研究

（4）リハビリテーション等の取組

（5）後遺症を有する者に対する支援

（6）循環器病の緩和ケア

（7）社会連携に基づく患者支援

（8）治療と仕事の両立支援・就労支援

（9）小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

（10）患者等への適切な情報提供・相談支援

- ① 循環器病の相談窓口の利用促進
- ② 循環器病の患者・経験者の情報提供
- ③ 人材育成等による地域包括支援センターの運営支援等

（11）宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター

脳卒中・心臓病等総合支援センターとは

脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業

1 事業の目的

○循環器病対策推進基本計画で、脳卒中・心臓病等（循環器病）患者を中心とした包括的な支援体制を構築するため、多職種が連携して、総合的な取組を進めることとしているが、これまでに都道府県が医療計画などで実施している対策よりも幅広い内容であり、各医療施設で個々の取組はされているものの情報が行き渡っているとはいえず、全ての支援について、十分なレベルで提供することに対して課題がある。

○この取組を効果的に推進するため、専門的な知識を有し、地域の情報提供等の中心的な役割を担う医療機関に脳卒中・心臓病等総合支援センターを配置し、都道府県と連携しつつ、地域の医療機関と勉強会や支援方法などの情報提供を行うなど協力体制を強化し、包括的な支援体制を構築することにより、地域全体の患者支援体制の充実を図ることを目的とする。

2 事業の概要・スキーム

【補助率：定額（10/10相当）】

＜事業の概要＞ 都道府県の循環器病対策推進計画等を踏まえ、自治体や関連する学会等とも連携しながら、以下の内容に関する事業を行う。

- ・循環器病患者・家族の相談支援窓口の設置（電話、メール相談を含む）
- ・地域住民を対象とした循環器病について、予防に関する内容も含めた情報提供、普及啓発
- ・地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会等の開催
- ・相談支援を効率的に行う、資材（パンフレットなど）の開発・提供
- ・その他、総合支援を効率的に行うために必要と考えられるもの

＜期待される効果＞

- ・地域医療機関の診療及び患者支援機能の向上が可能となる
- ・国民がワンストップで必要な情報を得られるとともに、より効率的かつ質の高い支援が可能となる

脳卒中・心臓病等総合支援センターのイメージ

本モデル事業の有効性を検証した上で、好事例として横展開を図る等により将来的に全国に広げることを検討



3 実施主体等

◆実施主体：各都道府県において、脳卒中・心臓病等の循環器病に対する中心的な役割を担う医療機関

- ①先天性疾患に対する診療、外来リハビリテーション、緩和ケア等、循環器病に対する総合的な診療を行える施設であり、地域の病院、かかりつけ医などとも密接に連携が取れること
- ②自治体との密な連携が取れ、循環器病の後遺症を有する者に対する支援及び治療と仕事の両立支援・就労支援を行っていること

◆1箇所あたり：1,800万円程度

◆事業実績：令和7年度 採択数12医療機関（10県）
令和6年度 採択数14医療機関（12都道府県）
令和5年度 採択数16医療機関（15府県）
令和4年度 採択数12医療機関（10府県）

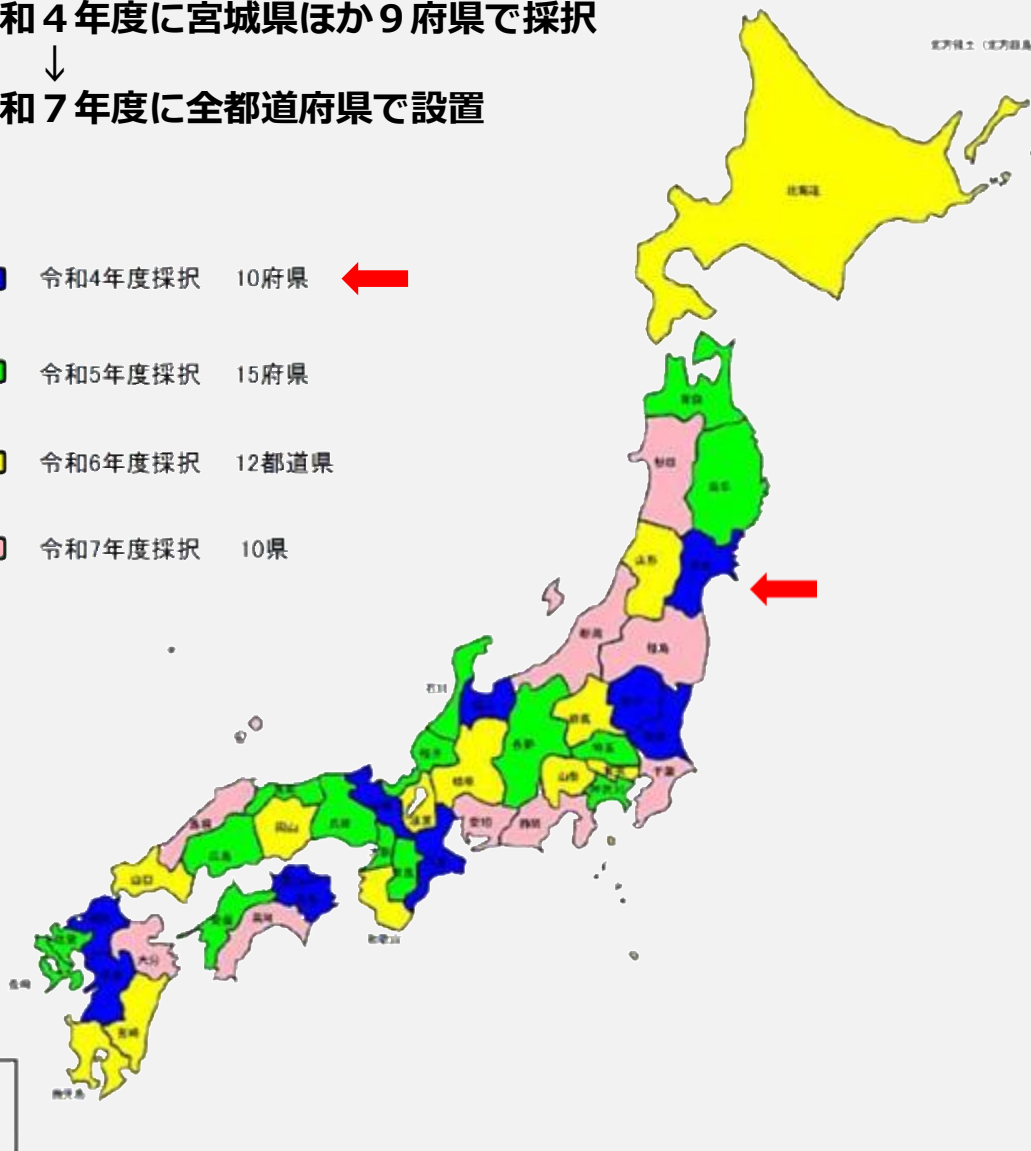
47都道府県すべてで事業実施

全国の脳卒中・心臓病等総合支援センター設置状況

令和4年度に宮城県ほか9府県で採択

↓
令和7年度に全都道府県で設置

- 令和4年度採択 10府県 ←
- 令和5年度採択 15府県
- 令和6年度採択 12都道県
- 令和7年度採択 10県



年度	都道府県名	医療機関
R4	宮城県	東北大学病院 ←
	茨城県	筑波大学附属病院
	栃木県	獨協医科大学病院、自治医科大学附属病院
	富山県	富山大学附属病院
	三重県	三重大学医学部附属病院
	京都府	京都府立大学附属病院、京都大学医学部附属病院
	徳島県	徳島大学病院
	香川県	香川大学医学部附属病院
	福岡県	国立病院機構九州医療センター
	熊本県	熊本大学病院
R5	青森県	弘前大学医学部附属病院
	岩手県	岩手医科大学附属病院
	埼玉県	埼玉医科大学国際医療センター
	神奈川県	東海大学医学部附属病院（聖マリアンナ医科大学病院に変更）
	石川県	金沢大学附属病院
	福井県	福井大学医学部附属病院
	長野県	信州大学医学部附属病院
	大阪府	国立循環器病センター
	兵庫県	神戸大学医学部附属病院、神戸市立医療センター中央市民病院
	奈良県	奈良県立医科大学附属病院
	鳥取県	鳥取大学医学部附属病院
	広島県	広島大学病院
	愛媛県	愛媛大学医学部附属病院
	佐賀県	佐賀大学医学部附属病院
	長崎県	長崎大学病院
R6	北海道	北海道大学病院
	山形県	山形大学医学部附属病院
	群馬県	群馬大学医学部附属病院
	東京都	日本医科大学付属病院、神原記念病院、武蔵野赤十字病院
	山梨県	山梨大学医学部附属病院
	岐阜県	岐阜大学医学部附属病院
	滋賀県	滋賀医科大学医学部附属病院
	和歌山県	和歌山県立医科大学附属病院
	岡山県	岡山大学病院
	山口県	山口大学医学部附属病院
	宮崎県	宮崎大学医学部附属病院
	鹿児島県	鹿児島大学病院
	沖縄県	琉球大学病院
R7	秋田県	秋田大学医学部附属病院、秋田県立循環器・脳脊髄センター
	新潟県	新潟大学医学部附属病院
	千葉県	千葉大学医学部附属病院
	静岡県	浜松医科大学医学部附属病院
	島根県	島根大学医学部附属病院
	高知県	高知大学
	大分県	大分大学医学部附属病院
	福島県	福島県立医科大学
	愛知県	名古屋大学医学部附属病院、藤田医科大学病院

出典：厚生労働省 第7回循環器病総合支援委員会（令和7年9月4日）資料より抜粋

宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター（東北大学病院内）

令和4年度の国のモデル事業で東北大学病院が設置したセンターは、令和5年度以降、県が実施主体として継続設置。

令和7年度 実績

循環器病患者・家族等の相談支援窓口の設置

R7年度 相談件数（延べ） 810件

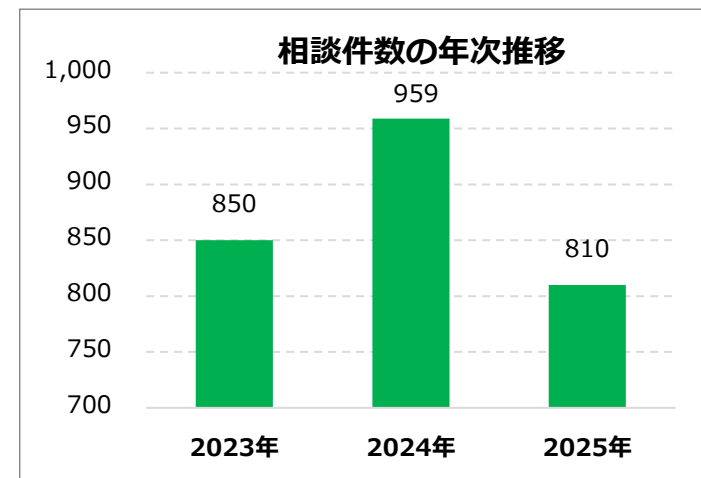
- 【支援内容】
- ・医療、介護、就労、障害等に関する情報提供と相談支援
 - ・療養に当たっての不安、悩み等への心理サポートの提供
 - ・ピアサポート、患者会、家族会の情報提供
 - ・リハビリ、就労支援等の他の専門機関の紹介

【対 象】 県内の循環器病患者とその家族等

【相談員】 脳卒中専門医資格を持つ医師1名、循環器専門医資格を持つ医師1名、脳卒中に精通した看護師、循環器病に精通した看護師、医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）各1名

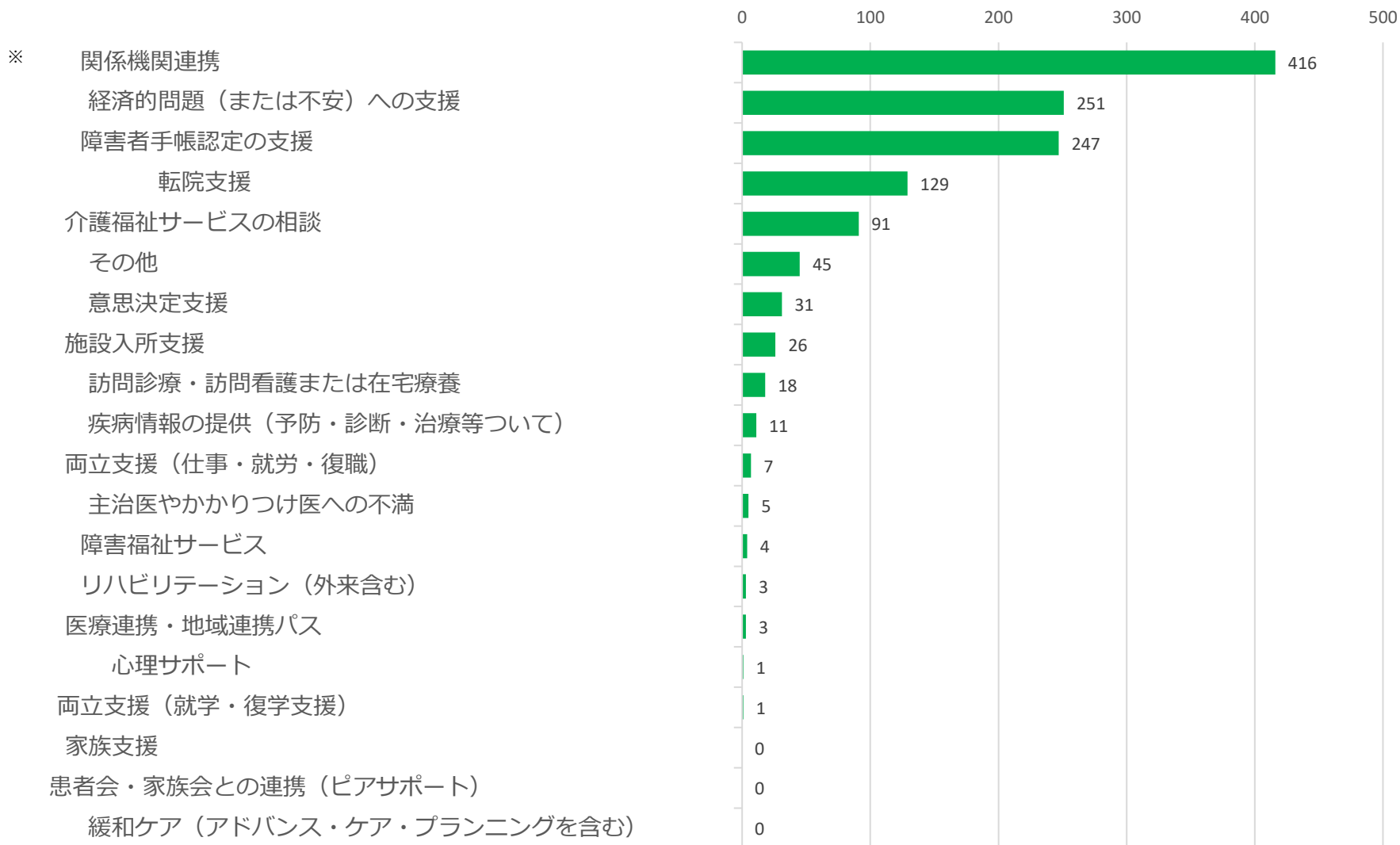
【開設時間】 東北大学病院
外来診療棟A1階 「医療そうだん窓口」内
月～金曜日（土・日・祝日・年末年始は除く。）
8：30～17：15

【相談方法】 面談、電話・メール相談



(参考) 相談件数と相談内容

相談内容件数 (R7)



宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター（東北大学病院内）

令和7年度 実績

地域住民を対象とした情報提供、普及啓発

循環器病に関する県民公開講座の開催実績

場所	参加人数	備考
利府町（6/14）	73人	脳卒中テーマ
登米市（9/2）	86人	心臓病テーマ
石巻市（11/21）	429人	脳卒中テーマ
仙台市（2/14）	110人	循環器病全般（全県民対象）

開催地の市町村と共催で開催



県民公開講座（石巻市）

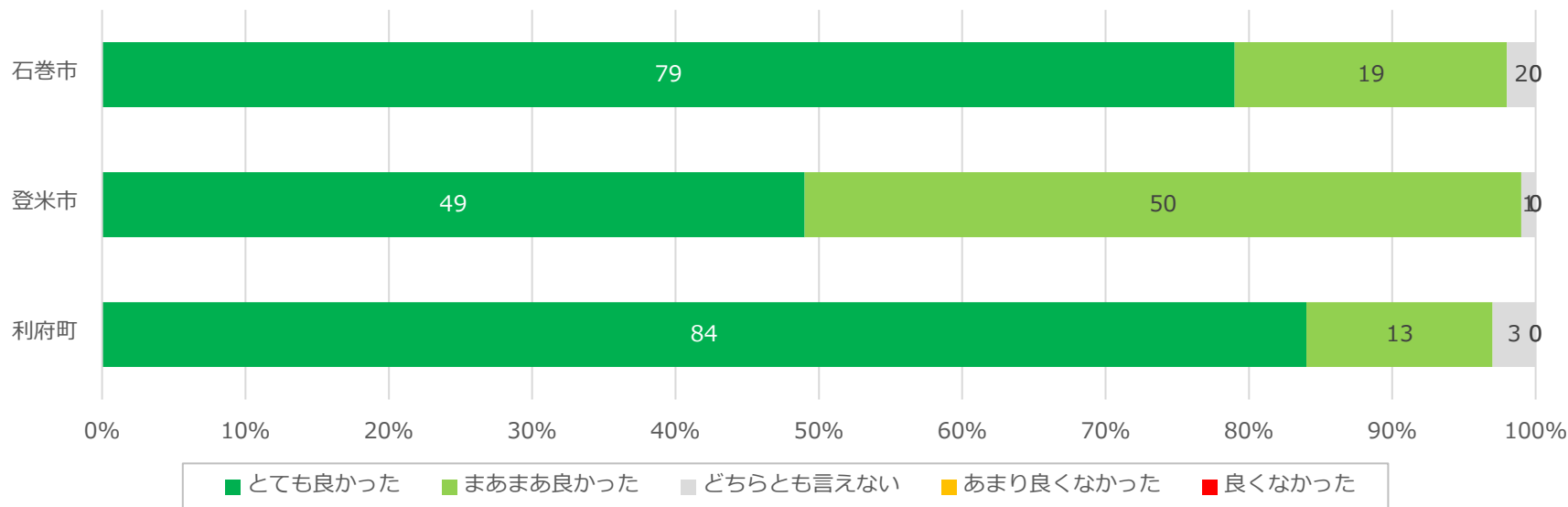


県民の健康と医療を考えるセミナー（仙台市）



(参考) 県民公開講座の評価

R7年度 県民公開講座 アンケート結果（イベント全体に関する評価）



主な自由意見

石巻市	・明日からの生活に病気に対する予防と良い食事を基本に健康管理に気を付けて生活したいと思います。大変勉強になりました。 ・脳卒中の危険と予防について、改めて実践していこうと思いました。家族にも呼びかけていこうと思います。 ・宮城県循環器病対策推進計画、ネット検索して読んでみようと思います。 ・資料がわかり易く、内容が良くわかりました。毎日の食事で減塩につとめ、健康寿命を延ばす努力をしようと思いました。
登米市	・生活習慣病を軽く考えていたことを感じました。すべての病気につながる事なので前向きに取り組んで行きたいと思い、大変参考になりました。 ・心臓病の恐さを改めて思い知らされました。生活習慣病に気を付けたいと思います。 ・生活習慣病予防が大切と再認識しました。パンフレットでの説明だったので理解しやすかった。 ・高血圧、糖尿、脂質異常、私に当てはまるものばかりでこわかったです。あらためて、生活習慣病に気を付けなければと思った。
利府町	・先生の説明が明快でした。事前の検査、日頃のセルフチェック、健康診断の大切さがわかりました。 ・宮城県はメタボをはじめ、様々な要因（高血圧、高血糖）が重なり、健康に関しての問題があると思いますので、特に血管を守ること＝脳を守ること等を意識していきたいと思います。 ・脳卒中の兆候、有酸素運動方法や食事による予防など、ご指導いただきありがとうございました。

宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター（東北大学病院）

令和8年度 事業計画

地域住民を対象とした情報提供、普及啓発

市町村（共催）からの要望により、講師の職種などを選定

場所	参加人数	備考
大衡村（6/23）	56人	心臓病テーマ （講師：医師、理学療法士、薬剤師）
南三陸（8/27）	100人	脳卒中テーマ （講師：医師、薬剤師、管理栄養士、作業療法士）
石巻市（10/20）	—	心臓病テーマ （講師：医師、薬剤師）石巻市・東松島市・女川町共催
柴田町（12/3）	—	脳卒中テーマ （講師：職種未確定）
仙台市（1/24）	—	循環器病全般 （講師：医師、理学療法士）全県民対象

R5年度からの開催地



県民公開講座（大衡村）

令和7年度 実績

リーフレット等の普及啓発資料の開発

漫画で学ぶ！ 循環器病予防のための啓発資料

循環器病について正しく理解し、適切に対処できる実践力を育成するため、子ども向け漫画教材を作成。

配布

- ・県内すべての小中高校（1冊配布）
- ・各市町村、保健所
- ・スマートみやぎ健民会議 一般会員



「健康戦隊ヘルシンジャー」あらすじ

西暦20XX年。日本各地で「不健康モンスター」が暴れ出し、人々の平穏が脅かされていた。

そんな中、県民の健康を守る正義の使者「健康戦隊ヘルシンジャー（レッド・イエロー・ブルー）」は、今日も平和のために戦っていた。

ある日、3人は小さなモンスター「コレステロール」を追って、禁断の路地裏「メタボ横丁」に足を踏み入れる。

そこは、おいしい誘惑にあふれる不健康への入り口だった。

「毎日食べても大丈夫でしょ？」——そんな甘い言葉に流され、3人と町の人々はいつしかメタボ横丁のとりこに。

しかし、毎日の暴飲暴食が、恐ろしい事態を招く！ ついにモンスターは凶悪な「プラーク」へと巨大化し、町を襲い始めた…。

マンガの続きは、こちらの二次元コードからご覧ください。

